

# 坂戸高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

## 1 学校基本情報

課程	全日制	学科	普通科 外国語科		生徒数	(男)537 (女)540	計 1077				
ホームページ	http://www.sakado-h.spec.ed.jp/										
アクセス	東武東上線北坂戸駅下車 徒歩 13分										
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 45分×7時間授業による週34単位で、徹底した学力向上</li> <li>・ 1学年「国語」・「数学」・「英語」で標準プラス1単位増加</li> <li>・ 2学年「数学」は少人数習熟度別授業</li> <li>・ 国公立大学（特に理系）志望者への十分な対応</li> <li>・ ALT 2名常駐に加え、外国語科は普通科の1.4倍の「英語」授業数</li> </ul>										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年時には全員が部活動に加入</li> <li>・ 科学部は文部科学大臣賞・アメリカ国際大会特別賞</li> <li>・ 放送部、美術部、アウトドア部は全国大会出場</li> <li>・ 剣道部、卓球部、写真部は関東大会出場</li> <li>・ ギター部（クラシックギターオーケストラ）は、全国総合文化祭出場</li> <li>・ 剣道部、ソフトボール部は県内公立高校の上位レベル</li> </ul>										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やなぎ祭(文化祭)のダンス・フェスティバルは、圧巻</li> <li>・ 体育祭は生徒主導の本気モード。クラスごとの手作りワッペンを体育着に着用</li> <li>・ オーストラリア姉妹校との相互交流、英作文・スピーチ・ディベートのコンテストの参加、留学生との交流、イングリッシュ・セミナー(外国語科行事)など、国際理解の行事も盛りだくさん</li> </ul>										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣接する小学校との年間を通じた相互交流事業（外国語科生徒による異文化交流、各部活動の交流、教員志望者の学習支援等々）</li> <li>・ 地域に愛され、文化祭では4,700名超の来校者。</li> </ul>										
進路	状況	四大	282人	短大	12人	専門	36人	就職	4人	その他の卒業生	31人
	傾向	<p>大多数の生徒が四年制大学へ進学。留学する生徒もいる。「第1志望を堅持する」を基本方針とし、大学見学会、進路講演会、大学入試共通テスト対策、進学補講等を実施。総合型選択・学校推薦型選択に頼らず、一般選択で最後まで粘り強く努力する姿勢を育む。</p>									

( 児童生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3卒業生の実績値 )

## 2 入学者選抜情報

< 本校が求める生徒 >

高い志を持ち、大学等の上級学校への進学意欲が明確な生徒  
 他人への思いやりを持つとともに自主性と、リーダーシップを発揮する生徒  
 学習、部活動や特別活動に対する意欲を持ち、入学後も努力を重ねその成果が期待できる生徒  
 外国語や異文化について興味・関心のある生徒

< [詳しい入学者選抜基準はこちら](#) >

(「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)



【目指す学校像】 文武に秀で、地域に愛され、国際感覚豊かな人材を育てる学校

【重点目標】

- 1 確かな学力の向上と高い志を育む教科指導と進路指導の充実
- 2 リーダー育成を図る特別活動と部活動の充実
- 3 開かれた魅力ある学校づくりの推進

### 進路実現のためのステップ

### 何ができるようになるか

1年次

自己と他己を知り、社会を知ることで学びの意欲を高める。  
職業理解を進め、自己の興味・適性を考えて夢を育む。

2年次

上級学校で何を学ぶかを考え、学問について理解を深める。  
自己理解を深め、高い目標の指導を宣言する。

3年次

志望宣言した進路の実現に向けて、取り組むべきことを確にして実行する。  
最後まであきらめることなく挑戦し、高い目標を実現させる。

### 何を学ぶか

### どのように学ぶか



入学当初の学習オリエンテーション(1年生)。全員体育館に机を運んで高校での学習方法を学ぶ



自習室は早朝7時10分～放課後(～19時30分)だけでなく、土日も開放。部活動のすきま時間を利用して両立を図る

### 「坂高スタイル」による学び

- ・ 予習・復習を前提とした45分×7時間の授業(週34単位)
- ・ 自習室の確保と時間管理の徹底
- ・ 実力テストの目標設定と分析(振り返り学習)
- ・ 学習内容における学びの最適化(講義型・A.L型・ICT活用型)

### 確かな学力を培うための教育課程

- ・ 1学年「国語」・「数学」・「英語」で標準プラス1単位増加
- ・ 2学年「数学」は習熟度別
- ・ 普通科3年次より文理選択(2年次一部選択有り)
- ・ 国公立大学(特に理系)志願者への十分な対応

### 国際理解教育

- ・ ALT 2名常駐
- ・ オーストラリア姉妹校との相互交流、英作文・スピーチ・ディベート等のコンテストへの参加
- ・ 外国語科は普通科の1.4倍の「英語」授業数を確保。2年次より第2外国語を選択

### 社会や将来へつなげるキャリア教育

- ・ 系統的な進路行事やキャリア教育の実施
- ・ 外国語科は普通科の1.4倍の「英語」授業数を確保。2年次より第2外国語を選択
- ・ 異校種交流事業(部活動、英語・算数支援)を通じた社会性の向上
- ・ グローバル課題をSDGsの視点から考える「テーマ探究」
- ・ 保護者の進路勉強会「子どもの進学を考える会」による家庭との連携



積極的な学び合い

新たな価値を創造する力

自学自習

3つの学校文化

学校行事

部活動

対立やジレンマを克服する力

責任ある行動をとる力



文化祭でのダンスフェスティバルは圧巻



18の運動部

オーストラリア研修  
とっても濃い2週間



14の文化部



# 坂戸西高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

## 1 学校基本情報

課程	全日制	学科	普通科	生徒数	(男) 544 (女) 410	計 9 5 4					
ホームページ	https://sw-h.spec.ed.jp/										
アクセス	東武越生線 西大家駅下車 徒歩 6 分										
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位制を導入（平成 1 5 年度から）</li> <li>・充実した学習指導（基礎基本を学ぶ授業、大学進学に対応した授業、興味関心に合わせた授業）</li> <li>・きめ細かい進路指導（夏期学習会、進路別バス見学会、小論文指導等）</li> <li>・一人ひとりの主体性を大切にする生徒指導</li> </ul>										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターハイ・全国大会出場（弓道、陸上競技、水泳）</li> <li>・関東大会出場（弓道、陸上競技、男子バレーボール、男子ソフトテニス、卓球、水泳）</li> <li>・音楽部 全国総文祭出場 ・書道部 県展推薦賞 ・美術部 県展出品</li> </ul> <p style="text-align: center;">（過去 3 年間の実績。下線部は 2 年以上連続）</p>										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本一をめざす体育祭（10月）・・・H22「全国学校体育研究最優秀校」文部科学大臣賞受賞</li> <li>・心を込めた文化祭「さつき祭」（9月）</li> <li>・歴史・文化・自然を体感する沖縄県修学旅行（11月）</li> </ul>										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三者面談を実施（6月） ・ P T A 懇談会を実施（7月）</li> <li>・城西大学、女子栄養大学、埼玉医科大学短期大学と連携協定（講演会、校内行事講師依頼、施設借用等を実施）</li> <li>・坂戸市の事業（スポーツ推進課、市立図書館等の催し）に参加</li> </ul>										
進路	状況	四大	141 人	短大	32 人	専門	129 人	就職	38 人	その他の卒業生	12 人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現役進路決定率 97 %</li> <li>・看護・医療系進学者 60 名</li> <li>・主な四年制大学 ... 津田塾大、東洋大、獨協大、日本大、武蔵大、立正大 他</li> <li>・主な就職先 ... 公務員（埼玉県警、消防署、他）、いるま野農協、ヤオコー他</li> </ul>									

( 児童生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の実績値 )

## 2 入学者選抜情報

< 本校が求める生徒 >

- ・勉強と部活動を両立させ、自分の夢実現に向けて全力で取り組む生徒
- ・規律正しく、自ら考え行動できる生徒

< [詳しい入学者選抜基準はこちら](#) >

(「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)

## 進化する坂西

### 夢の実現100%を目指して

- 自分の進路希望に応じた授業が選択できます。（全日制・普通科の単位制高校）
- 学校行事や部活動が充実しています。（学びを実践につなげる成長の場）
- 個別面接指導等、一人ひとりにきめ細かい進路指導を行っています。

#### ○ 授業 … 単位制なので「自分の進路(目標)に応じた時間割」が作れます。

- ・ 1年 入学して6月には2年の選択科目を決めます。進路がはっきりしていない人には、先生が丁寧に指導します。
- ・ 2年、3年 各自が選んだ科目でさらに学力を高めていきます。



#### ○ 学校行事 … 体育祭 文化祭 修学旅行 他

- ・ 「心をつなぐ集団行動」一体感を味わうことができます。
- ・ 生徒が熱く燃えます！
- ・ 体育祭では、1200人を超える保護者が声援を送ります。



#### ○ 部活動 … 運動部19、文化部18

- ・ 関東大会や全国大会にも出場しています。
- ・ 3年間、ひたむきな青春がここにあり！



#### ○ 進路指導 … 3年間系統的にきめ細かい進路指導を行います。

- 1年 夏期学習会、進路別バス見学 他
- 2年 進路講演会、進路説明会、保護者対象進路説明会 他
- 3年 分野別説明会、小論文指導 他



#### ○ 私たちの「成長物語」

##### 1年生

坂戸西高校野球部で活躍する先輩にあこがれて入学、すぐ野球部に入り、頑張っています。1年生部員は20名ほどいてライバルも多いです。入部した時は、先輩たちの迫りに圧倒されました。ついていけない、と思いましたが、夏を過ぎた頃から体力に自信がつき、練習試合にも出られるようになりました。

家に帰ってからは、最低限その日のうちに宿題と、翌日の漢字テストや英単語テストの勉強をして、「部活だけ」にならないようにしています。

将来は、体育の教員になりたいと思っています。2年生の選択科目では、「総合スポーツⅠ」を受講しようと決めました。

##### 2年生

吹奏楽部で金管楽器を担当しています。野球部の応援、夏の合宿、コンクールなどが終わり、3年生も引退し、自分たちが中心となって、活動するようになりました。最初の大きなイベント「さつき祭」では手ごたえを感じる事ができました。これからは、「ウィンターコンサート」や「アンサンブルコンテスト」に向けてさらに頑張ろうと思っています。

修学旅行後は、進路選択の時期となります。私は幼稚園の先生になるために短期大学に進学したいと考えています。好きな音楽も生かせると思います。3年生の科目では、「子どもの発達と保育」を選択しました。

##### 3年生

サッカー部でディフェンダーとして選手権出場を目指し、部活動に取り組んできました。その夢は叶いませんでしたが、やり切った満足感があります。

2学期初めの文化祭ではクラスメートと協力し、準備や当日の分担に積極的に取り組みました。その結果、文化祭参加クラスの最優秀賞である「さつき大賞」を受賞することができ、クラスの仲間とステージに駆け上がって喜びました。

四年制大学への進学を目指していて、2年生・3年生の科目選択では、大学受験に向けて「上級科目」や「演習科目」を選択し、学業も頑張ってきました。大学入学共通テストの出願を終え、これから志望大学の一般受験に向けて、さらに勉強に集中していくところです。放課後は、学校の自習室に直行しています。

## 特別支援学校坂戸ろう学園の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

### 1 学校基本情報

種別	聴覚障害	学部・ 学科	幼・小・中・高	児童 生徒数	(男)46 (女)50	計 96
ホームページ	<a href="http://www.sakado-sd.spec.ed.jp/">http://www.sakado-sd.spec.ed.jp/</a>					
アクセス	東武東上線 北坂戸駅から徒歩15分					
教育課程等 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚部は、幼稚部教育要領5領域の発達に関する視点と自立活動六区分の内容に関する視点を取り入れた教育課程を編成しています。</li> <li>・小学部、中学部、高等部は小学校、中学校、高等学校に準じた教科学習を行っています。</li> <li>・高等部では普通科、産業工芸科の2つの学科を設置し、進路希望に応じた教育課程を編成しています。</li> <li>・重複部は個々の障害の状況に応じ、教科別の学習の他に教科等を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）を行っています。</li> </ul>					
特色ある 学校行事や 部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会・体育祭は練習から全校で活動し、学部を越えたかわりを通して互いを敬う心を育てています。</li> <li>・あゆみ祭（文化祭）では、学部学級の日頃の学びの成果を工夫した形で発表し、互いの努力を知る機会となっています。</li> <li>・部活動は、中学部、高等部の生徒が対象で、一緒に活動しています。</li> <li>・陸上競技部、女子バレー部、野球部、卓球部、文化部の5つの部活があります。</li> <li>・運動部は、関東聾学校大会や中体連、高体連、高野連の大会に参加しています。</li> </ul>					
家庭・地域 との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会・体育祭及びあゆみ祭において、PTAが企画した活動を行っています。</li> <li>・近隣の保育園、小学校、中学校、高等学校と交流会を実施しています。</li> <li>・学校公開を年2回実施しています。</li> <li>・寄宿舍太鼓サークル「こぼと会」が、坂戸市や地域のお祭りで太鼓演奏を発表しています。</li> </ul>					
進路に ついて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路選択のため、進学、就職に関する見学や実習を行っています。</li> </ul> <p>主な進学先 筑波技術大学、群馬大学、東洋大学、日本社会事業大学、恵泉女学園大学、和光大学、武蔵丘短期大学、筑波大附属専攻科、大宮ろう学園専攻科</p> <p>主な就職先 トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社、日本電波工業株式会社、イントロン株式会社、株式会社ジェイテクト、株式会社マルイキットセンター、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、菱信データ株式会社、株式会社アダストリア、スズキ株式会社、株式会社松屋フーズ</p> <p>就労移行等 くるみの木、Office HIRUGAO、Jast、サンフレッシュメイト、多機能型事業所ラボリ、すだち作業所</p>					

( 児童生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の実績 )

### 聴覚障害の特別支援学校

県内には、坂戸と大宮の2校、全国では、分校・分教室を含めると102校あります。  
3歳からの幼児児童生徒が学んでいます。  
さらに、乳幼児教育相談も設置されていて、0歳児から教育相談を受け付けています。

### 学校の様子？

手話や日本語のコミュニケーション力を高め、学力の向上を図っています。  
ICT等を活用した情報保障の充実や分かる授業づくりに取り組んでいます。  
在籍人数は、幼稚部から高等部まであわせて96名。学年を超えて助け合う、温か味のある校風が自慢です。  
学習内容は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準じた勉強をしています。もちろん、個に応じた指導も大切にしています。  
また中・高等部から部活動もあります。最近、大学等への進学希望が増えて、進学に対応できる教育課程も工夫しています。  
複数の障害を併せ有する幼児児童生徒は、個々の障害の状況に応じて、学習集団を工夫して学習を行っています。

## 成長物語

### 幼稚部

先生やお友達といっぱい話し、遊び、できることは自分でやる姿を目指す。  
集団と個別の活動を通じ、個々のきこえ方や発達の特徴に応じ指導・支援を行う。

### 小学部

児童が自ら情報をつかみ、生活に活かそうとする姿を目指す。  
学習や活動の内容、季節やニュース等の情報が適格につかめる掲示物や掲示方法を工夫する。

### 中学部

手話と日本語の力を身につけ、学習に主体的に取り組むとともに、教員や友達とその場に応じたコミュニケーションがとれる姿を目指す。  
デフフッドの視点から生徒の思考力を深める授業を研究するとともに、育む学校内外問わずコミュニケーションをとる機会を設定し経験を積めるようにする。

### 高等部

社会で活躍するたくましい大人を目指し、自ら学ぶ生徒を育てる。  
学年に応じた手話・筆談力を養い、個々の生徒の実態に応じ必要な力を身につけるための体験学習を行う。福祉や社会常識、障害認識、発音指導（希望者）は外部講師の指導も含め実施する。

### 幼稚部（乳幼児教育相談）

乳幼児支援、保護者支援を充実させる。  
子供が自ら考える力を高める活動を設定する。両親が参加しやすい活動を計画する。個々に応じ子育てについて助言を行う。ICTを活用し参加が難しい家庭への支援を行う。

### 重複部

日常生活や集団・社会生活に必要な力、コミュニケーションの力を身に付ける。  
児童生徒のコミュニケーション手段に応じた教材や方法を充実し、生活で生かせるよう家庭と連携する。

### 地域支援部

通級指導、教育相談、支援籍学習において、児童生徒のニーズに応じた対応を充実させる。  
相談対応充実のため、部内研修で情報共有し個別の相談に生かす。

### 寄宿部

生活に見通しを持ち、活動するとともに、集団生活を通じ、人間関係を築く力を育む。  
見通しを持てる環境整備や取り組みを計画的に行い、手話力を向上することで意思表示やコミュニケーションの力を高める。